

第2回 南成瀬地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事要旨

開催日時	2022年3月10日（木） 9：30～11：10	
開催場所	町田市立南第二小学校 2階図書室	
出席者 (敬称略)	委員	尾上委員、緑川委員、井伊委員、戸木田委員、柴田委員、福土委員、中村委員、小山委員、沖委員、赤澤委員、上野委員、小室委員、○隅田委員、前田委員、◎木下委員（◎会長 ○副会長）
	事務局	田中教育総務課長、小宮教育総務課担当課長、平川施設課長、田村学務課長、押切保健給食課長、林教育センター所長、遠藤指導課担当課長、蓼沼施設課施設担当係長、根本学務課管理担当係長、都筑学務課学籍担当係長 (教育総務課総務係) 岡崎担当係長、竹村主任 (委託業者) 株式会社教育施設研究所 高松、太田、大須田、阿部
傍聴者	0名	

議事内容

1 第1回基本計画検討会の振り返り

教育総務課 (資料1-1～2説明)

2 新たな学校の通学路の安全対策及び通学の負担軽減に関する基本情報

学務課 (資料2-1～4説明)

資料2-2～4は非公開資料

委員

通学路の安全対策を検討開始は5月で、8月に報告会を行い、2022年度中に通学路を決めたいということだが、この期間では短いと思う。

また、今の1、2年生は学校統合の計画を知らずに現在の学校に通っており、その児童が5、6年生になったときに学校統合があり通学路が変わる。そのため、今の1年生、2年生には通学について配慮はできないのか。例えば、スクールバスを今の1、2年生を対象に出したり、2022年度に入学する1年生に関しては学区が選べたから配慮は無くてもいいのかなと思ったりもした。

2025年度に1、2年生になる低学年の通学区域の端っこの児童に関しては、体力的にも、学校を移ったときにこれまでの倍ぐらい歩くということから、スクールバスが出たらいいと思った。路線バスで基本考えているということだったが、この地域は路線バスが走っていないので、スクールバスを検討して欲しいと思う。

学務課

通学路の安全対策を検討する期間が短いということだが、これから各地区で検討会を実施していき、それぞれの地区で通学路の設定というのはまだ先の話しになる。最終的には南第二小学校の児童が通う前年度までにと話にはなる。もし、今の時点で大きな課題があった場合は、事前に道路管理者や警察に相談をしないと、安全対策もできない部分がある。皆様の意見を伺いながら、通学路の検討については早めに各管理者と教育委員会で調整し、安全対策ができるかどうかを進めていきたい。

南成瀬地区は区画整理事業をしており、道路形態等は変わらない可能性が高いが、他の地域は道路形態等も変わることもあり、2年後まで時間があるので、目安として、安全と思われるところを検討し、通学路の安全対策で時間がかかる対策については、早めに対応していきたいと考えている。

続いて、スクールバスについて、通学に関する配慮事項については、この検討会の中で時間を頂戴し、意見等を頂き、調査報告する予定。今日の意見も受け止めたい。

それから、通学の負担軽減について、具体的に資料の2-3、2-4を見ると、2-3の資料の水色で塗ってある地域が新しい南成瀬地区の通学区域になる。そこに緑色や青色のピンで児童の分布を示している。それから、2-3は、右側に赤い線があり、この線が南成瀬小学校の学校位置を中心に半径1.5キロの円周の線になる。この線を越えているか越えていないかが一つの目安になる。この線を越えていて公共交通機関が利用できるようであれば、通学費補助金制度の対応となる。また、この線を越えていて、通学の方法として、公共交通機関が見当たらないということであれば、新たな通学方法の導入の検討対象となる。

委員

通学路の安全なコースの設定について、スケジュールは大体分かった。2年に1度の通学路安全点検について、学校や保護者が連携して実際に歩く。市の方も一緒に歩くが、こちらから安全対策の要望を出すのが、色々な理由で8割、9割が却下される。これは恨み節で言っているのではなく、ある意味素人であるがゆえに、よかれと思って要望を出したものに対して、それはかえって危ないと指摘を受けることもある。机上で検討することも必要だと思うが、作業部会のような位置づけで実際の通学路を歩いて調査する、そのときに可能であれば、安全対策の専門家にアドバイザーとして一緒に回ってもらうことや、我々が調査した情報を踏まえて、何らかの専門的なアドバイスをもらえる手段も、検討してほしい。

一昨年になるが、ヒヤリ・ハットのあわや大事故になるような事案が現状の学区区域の中で起こっている。保護者、地域、皆さんで心配し、学校とPTA、それから地域がひとつになり安全委員会を立ち上げている。そういった流れもあるので、地域の実情も踏まえ、柔軟に支援していただきたい。

学務課

昨年、通学路安全点検をしたが、要望、対策がなかなか実現していなくて本当に心苦しい。専門的な立場ということになると、道路管理者と警察しか実際には今のところいないので、今の意見については道路管理者、警察に相談し、助言を事前にももらう手法も検討したいと思う。

あと、具体的な通学路について、地図上で見ると、現在の通学区域の境に恩田川があり、どこで恩田川を横断することが一番安全なのか、現在の通学区域の境の広い道路はどこを横断したら一番安全なのか等、具体的な検討が中心になってくると考えている。

委員

千葉県八街市の事故のときに、市の安全対策として、現状の通学路の状態を、第三者の専門家に見てもらったという話を聞いた。この際、より安全な通学路の設定ということでそのような方を活用していただきたい。あるいは、それに代わる現状で

の支援があるのであれば、そちらで十分をお願いしたい。

3 新たな学校の運用体制について

教育総務課

(資料3説明)

新たな学校の運用体制について、ソフト面(運用面)を変えていくことを考えている。教員が教育活動の根幹を担うことに変わりない。変わるのは必ずしも教員が担う必要がない部分に民間の力を導入することで、教員が教育活動に専念することができる環境をつくり出すとともに、学校施設を地域活動の拠点として使いやすくしたい、今あるコミュニティスクールの取組みに民間の力を加えることで、学校でできることの幅を広げていきたいと考えている。

★2では新たな学校で目指すことということで、1点目は、みんながつどう地域拠点にする。新たな学校では、さらなる学びや、地域の面白さを活かすような場所にしていくことを目指している。

2点目は、教員が教育活動に専念できる環境にしていく。教職員でなくても担える業務、例えば、施設開放や、建物の維持管理の仕事を教職員から切り離すことを考えている。これらのことを民間の活力を導入することで実現をしていくことを目指している。

★3では運用体制模式図を示している。既存のコミュニティスクールの仕組みに民間等の活力を加えていくことを考えている。このことで、例えば、今ボランティアコーディネーターが学校の活動を支援するような支援者を集めて探す活動を民間がサポートすることでより幅が広がるようなこと、あるいは地域開放区画の利用を促進するような事業を展開すること、そのような様々なことができるようになることで幅が広がるようなことができればよいと考えている。

★5について、「みんながつどう地域拠点にする」ために導入したいことということで、課外活動や授業でできることの幅を広げていくこと、例えば、授業で習ったことを実践する理科や算数の特別講座であったり、まちととも連携した遊びや学び、プールの授業でインストラクターが指導するということであったり、中学校であれば、外部指導員を導入して部活動の種目を増やしたり、専門コーチによる指導をすることができることが考えられる。

さらには、教育関係・スポーツ関係事業者などによる放課後に学校施設を活用して、子どもたちの居場所づくりと併せて、学習塾や習い事ができるようにする、こうした可能性があるのではないかと考えている。

また、地域の方々が学校に集まるような事業を展開し、学校を利用してもらおう。そして、地域の活動に子どもたちを取り込んだり、子どもたちの活動の幅を広げたり、地域の人同士のつながりが生まれたりすることを実現したいと考えている。

このようなことに関しては、現在民間活力導入可能性調査を実施しており、実現の可能性を探っている。

★6ではこのような取組をしていくに当たって、教員の負担を増やすことがない

よう、民間が学校施設の維持管理・運営に関わる範囲を時間帯によって変えようと考えている。具体的には、授業がある時間帯とそうでない時間帯で施設のセキュリティラインを変えることによって、教育活動を優先しながらも、地域拠点として学校施設を活用できる幅を広げようと考えている。

4 南成瀬地区の新たな学校の施設整備について

委託業者

(資料4-1説明)

今は基本計画を策定する段階。基本計画というのは、どういう学校をつくりたいとか、どういう考え方で施設をつくりたいというのを決めるもの、設計をする前段階に当たるものである。

今回3案を提示しているがどの案が良いかを選ぶのではない。新たな学校を建設するに当たって、配置に関わる、例えば校舎とグラウンドの関係とか、あと門とかアプローチの位置、地域開放のゾーンはどういうところにあったほうがいいのか、どの範囲を地域開放するとよいかなど、大事だと考えていることについて意見をいただきたい。

前提条件となるのは、町田市立学校施設機能別整備方針。この方針に基づきながら検討していくので、それ以外のことについては自由に発言し、大事なことをまとめていきたいと思う。

その他に敷地の条件で、建物の日陰による近隣への影響を考慮して、北側に寄せたり東側に寄せたりというのは困難である。また、小学校は3階建てが望ましい。それから、大がかりな造成はしない。今グラウンドと校舎側の土地は1メートルぐらい高低差があるため、全部埋めてしまうとかなりの造成になってしまう。それから、道路際のところは50センチぐらいを最大値とする水害の想定がされているので、そこよりも床を高くするような検討をしていかなければならない。

A案、B案は現在と同じような北側の位置に校舎を建てる案。C案は今グラウンド側のほうに校舎を建てる案になっている。土地の中にレベル差があり道路との接点が限られているため、出入口、門の位置がある程度限られている。

個別に言うと、全ての案で共通する事項で、管理諸室は方針に基づいて1階のグラウンドに面した緊急車両が横づけできる場所にし、南側か東側に配置している。小学校の活動時間は午前中に集中するので、午前中から昼に日光がしっかり入るような場所に教室を配置する。

A案の場合、体育館を東側に配置するパターン、B案は逆に西側に配置するパターン。体育館を中心にしながら、下の階や多目的ホール等の地域開放の部屋をまとめたイメージ。そこから特別教室なんかを利用できる範囲を定め、紫の範囲が地域開放を想定したゾーンということになる。体育館と地域開放のゾーン、それと地域開放できる特別教室を区画しながら使っていけるように、全ての案で共通で考えている。

B案のほうは体育館を西側に置くタイプで、教室が南側と東側に配置したパター

ンになる。

C案は、校舎を南側に置くので、ちょっと細長い形状の敷地に配置するパターン。南側に教室を向けると教室の学年ごとのユニットを南向きにしながら、中庭を取り、系統的に配置している。体育館が校舎とグラウンドとの間に入るので、体育館の日陰や、校舎を少し下がった位置に配置していることが気になる点になる。

〔 ワークショップ 〕

Aグループ

代表的な意見は、C案は日当たりとかはいいかもしれないが、教室からグラウンドが遠く、防災や子どもたちの移動が長いことが気になるというご意見が多く出た。

そして、3案共通で、川沿いの道は傘を差すと行き来ができず、道が広くならないだろうか、教室は日当たりが良い方がいい、東側に向くのもあるし、緑のある西側に向ける方法も今後考えられる。教室は2階、3階にあったほうがいいなという意見もあった。偶然にも、今回、全案とも体育館を2階に配置しているが、2階に体育館があるのもいいという意見もあった。

あと、中庭の活用をどうするかということで、接する教室が自分の建物で影になるのではないかという意見があった。

また、出入口について、A案・B案は今の位置をそのまま利用できるというのと、C案は少し入り口が変わってくる。それと、北側の団地にも入り口があったほうがいいのかという意見も出てきた。

C案は土地の低い位置に校舎を造ることになるので、避難のことを考えれば、やはり高いほうに校舎があったほうがいいのかという意見も出た。

Bグループ

通学路の話し、安全対策等について、学校周囲の門までのアプローチを安全にしたいということで、特に西側のところが細い通路になっているので、早い段階で敷地内に入ることができる歩道を造ることや、歩道を拡幅できないかという意見は複数あった。

また、北側の駐車場については、台数をかなり確保していかないと、災害時や送り迎え、保護者会とかの対応も含めて検討が必要だろうということがあった。特にイベント時みたいなときに、グラウンドも含め、どこか止められるスペースをしっかりと取らなければいけないという意見が出た。駐輪場についても同じで、イベント時にちゃんと駐輪できる場所を確保しておくことを要望が出た。

配置に関しては、地域開放ゾーンを休みの日等で、独立してしっかり管理できるような形で、例えば、建物が独立したB案なんかは体育館のところが独立しているので使いやすいのではないかと。それから、地域開放ゾーンの出入り場所を学校と区分けして、地域として使いやすいようにしたほうがいいのか。地域開放ゾーンとグラウンドを利用したイベント、中庭は使えるか分からないが、何かイベントがあるときに、地域開放ゾーンにトイレがあるとよいという意見もあった。あと、

地域開放ゾーンで、習い事ができる場所があるとよいという意見があり、それと地域開放の割当てみたいなのもしっかり検討して、それと併せた施設計画をしてほしいという意見があった。

建物の形状に関しては、B案の最上階のプールについて、北側のアパートが5階建てなので、その関係はどうなるのか気になっているという意見があった。

それ以外に、防犯とか防災に関する意見が多くあり、防犯、防災に関する市の方針と併せて検討していく必要があると感じた。

5 第3回基本計画開催概要

教育総務課 2022年4月19日（火）9時30分～南成瀬小学校を予定

6 閉会

会長 （閉会の挨拶）